

2018年 6月 15日

報道関係者各位

株式会社東急コミュニティー

## 建物そのものが研修素材 「（仮称）東急コミュニティー技術研修センター」を新設 ～実物から学ぶ～

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：雑賀克英）は、技術面での提案力強化、人材育成の場として、東京都目黒区上目黒に「（仮称）東急コミュニティー技術研修センター」（以下、当センター）を新設し、2019年5月より運用を予定しておりますので、お知らせいたします。従業員の技術力・提案力を高めることで、お客様のマンションやビルなどの資産価値向上につなげてまいります。

### ・新設の背景と目的

当社は1989年に、マンション・ビル管理の実践的体験に基づく研修による人材育成を目的に、技術センター（TTC＝Tokyu Community Technical Center）を建設し、技術管理サービスの向上に努めてまいりました。しかし、約30年が経過した現在、お客様のニーズに合わせて、求められるサービスの内容も変化しております。

そこで、先進的な設備を備え、研修を通じてサービスの基本となる技術力からお客様に対する提案力までを習得し、先進テクノロジー活用に向けた実証実験も行うことができる施設に建て替えるをいたします。

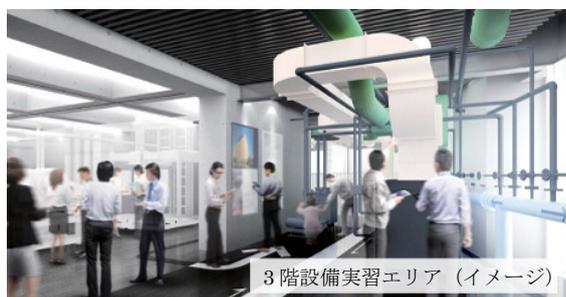


技術研修センター外観パース（イメージ）

### ・当センターの計画概要

当センターのコンセプトは『建物そのものが研修素材』です。2～3階には当センターの設備とは切り離し、当該フロアのみ独立した設備を配置することで、人為的に停電や断水を発生させることができます。それにより、各設備の連動性を把握しながら電気設備トラブルの復旧実習や給排水設備のメンテナンス実習、災害発生時の防災実習など、実践的な研修が可能です。

また、RC造・S造の併用構造として、2つの構造体を見えるようにすることで、建築構造を学ぶ素材としても活用します。そのほか、地下1階には約80名収容するイベントホールを設け、座学などの集合研修のほか、情報発信の場として使用する予定です。



3階設備実習エリア（イメージ）



1階エントランス（イメージ）

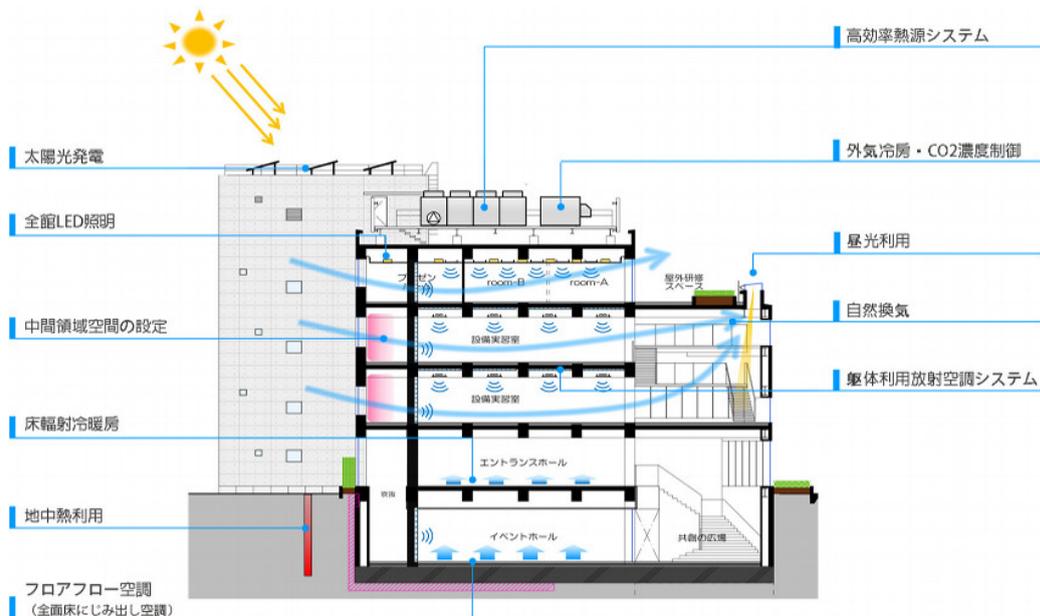
## ・ 自然環境や周辺地域にも配慮した施設

当センターは中目黒駅に至近の住宅街に位置しています。そのため、特に周辺地域や自然環境との調和に配慮し、清水建設株式会社の設計・施工のもと、地域とのつながりや省エネを実現します。

省エネの一例として、「躯体利用空調システム」の活用や、再生可能エネルギーを利用する地中熱や太陽光発電を導入。さまざまな仕組みを組み合わせることで、東京都心部でも実例が少ない、ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB<sup>※</sup>）の認証の取得を目指しています。

また、当センターのエネルギー効率を見える化することで、エネルギーに関するデータ蓄積の場とし、それらのデータを活用した省エネなどのご提案にもつなげてまいります。

2019年5月の運用開始に向け、社員の技術力・お客様のサービス向上につながるような研修や設備の充実を目指してまいります。



省エネへの取り組み（イメージ）

※ZEB（ゼロ・エネルギー・ビル [Zero Energy Building]）は、建物の構造・設備の省エネルギーを図ったり、再生可能エネルギーを導入することなどで、総エネルギー消費量がゼロあるいはゼロに近い数値となる建物。

### ■東急コミュニティー技術研修センター

所在地：東京都目黒区上目黒三丁目9番1号

構造・規模：RC造S造併用構造 地下1階 地上5階

敷地面積：842 m<sup>2</sup> (254 坪)

建築面積：610 m<sup>2</sup>

延床面積：2,440 m<sup>2</sup> (738 坪)

設計・施工：清水建設株式会社